



新年あけましておめでとうございます

もっと住みよい旭川となるよう取り組んでまいります
本年もどうぞよろしくお願いいたします！

4年の任期を折り返し、現在は所属する民生常任委員会で副委員長を務めています。私の要望で横須賀市の画期的な終活支援事業を委員会視察してきました。少子高齢化・人口減少で単身世帯が増加、家族・親族の繋がりも希薄化し身元が判明していても引取り手のない遺骨も急増していますが、同市は二つの事業で対応しており、1つは、緊急連絡先、葬儀・納骨の生前

契約、お墓の所在地、遺言・エンディングノートの保管場所、主治医・服薬・医療情報などあらゆる情報を市民が無料で市に登録でき、万が一の際に警察・病院等からの問い合わせに市が回答できるもので、アナログながら絶大な効果を発揮。もう1つは、身寄りがない市民から葬送・納骨費用27万円を市が預かり、生前から訪問支援を行い、死後は遺志を尊重した埋葬・納骨を実施する制度。しかも予算は2事業で僅か5万円程度！職員の使命感と工夫で生まれた個人の尊厳を守る仕組みは、旭川市でも導入すべき素晴らしいお手本で、実現に向けてしっかり取り組んでまいります。



にしかわ将人衆議院議員と
新春の街頭演説を行いました

バスなどの地域公共交通へ取り組みます

人口減少社会における地域の活力維持、住みよい旭川実現のために、バス路線の維持・再構築、地域における活動への支援、暮らしを直撃している物価高への対策など、生活者を真ん中にとらえた政策に取り組んでいかなければなりません。

バス事業者における運転手不足により、バスの減便が北星地区でも進んでいます。人は本来、人に出会って交流したり行事に参加したり社会で役割を担うことで、よりいきいきと活力のある暮らしを送り、健康的に暮らすことができることがわかっています。公共交通の衰退は、この旭川の活力、地域力、そして地域の方々の肉体的・精神的健康の衰退に直結します。この旭川で暮らす皆様が今住んでいる地域で将来も安心して住み続けるために、買い物や通院、日々の暮らしの足となる「コミュニティバス」を実現したい。その想いで今学んでいるところで、一步ずつ取り組んでまいります。また市の予算の使い方を見直し、物価高対策や福祉対策、地域の方々が交流できるお祭り・イベントなど、“元気な旭川”の推進を提言してまいります。

会派で今津市長へ予算要望を行いました

バス事業者の支援 予算編成向け要望 市議会旭川市民連合

三坂郁夫 有料記事

2025年12月11日 18:59

あとで読む

旭川市

#旭川市

#旭川上川



旭川市の今津市長（左端）に要望書を手渡す旭川市民連合の高木会長（左から2人目）



旭川市議会旭川市民連合は11日、市の2026年度予算編成に向けた要望書を今津寛介市長に提出した。バス路線維持のための事業者支援などを求めた。

要望は37項目。バス事業者支援では、減便や最終便の繰り上げにより市民生活が損なわれていると訴えた。来年10月に実施する公共施設の使用料や各種手数料の見直し案については、施設の利用控えにつながる可能性があるとして慎重な判断を求めた。

植木が強く要望した内容を、北海道新聞さんが大きく取り上げていただきました。